

2017年度第10回支部集会【関西支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2018年3月24日(土) 会場：龍谷大学深草キャンパス

参加者：130名(会員89名・一般41名)

今年度最後の支部集会が2018年3月24日(土)、龍谷大学深草キャンパスで開催されました。

本集会は、関西で初めての終日開催でしたが、多くの皆様にご参加いただき、大盛況の会となりました。口頭発表5件に加え、関西では初めてのポスター発表(7件)、交流ひろば(3件)も行われ、参加者間と活発な意見交換がなされました。また9月の関西支部集会に続き、チャレンジ支援委員会による発表応募支援セミナー&個別相談も実施されました。

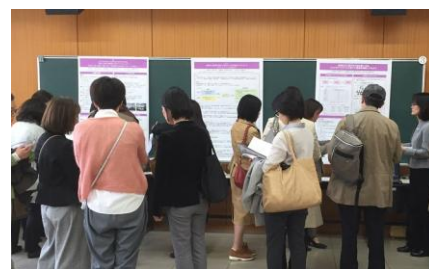
午後から行われた講演は、2018年3月に公開されたばかりの「[日本語教育人材の養成と研修の在り方について\(報告\)](#)」について、文化庁文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員として本報告の検討・作成に携わってこられた、インターカルト日本語学校の加藤早苗氏をお招きし、全国に先駆けて本報告の具体的な内容についてお話いただきました。会場からは、研修の実施方法など本報告内容の具体的な運用に関する質問があったほか、教育現場と学会、関係省庁の連携の必要性や学会の役割への要望について活発に意見が出されました。また特に若い世代からは日本語教師同士の交流やキャリア形成に対する支援の必要性が示されました。今後も引き続き、日本語教育をとりまく社会的動向を注視し、学会を挙げてこれらの問題に取り組んでいくべきとの認識を共有する、有意義な機会となりました。



ポスター発表



口頭発表



交流ひろば



発表応募支援セミナー&個別相談
(チャレンジ支援委員会)



講演「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」

地域における日本語教育を普及、推進、活性化するために、研究集会事業の後継事業として今年度より始まった支部活動事業ですが、会場校である龍谷大学の三原龍志先生、木下謙朗先生をはじめ、多くの方々のご協力を得て、初年度最後を締めくくるにふさわしい集会となりました。あらためて当日の参加者や関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(支部活動委員 和泉元千春・亀田美保)